

東京都監察医務院検査科説明会に寄せられた質問への回答 (Q&A)

Q1. 東京都監察医務院では臨床検査技師同士、また監察医とどのような関係を築いているのでしょうか。

A. 臨床検査技師同士、仲が良くアットホームな職場です。監察医との関係は、業務を行う上で話し合う機会が多く、かなり距離が近い関係です。

Q2. 東京都監察医務院で勤務していて辛いこと、大変だと感じることは。

A. 解剖業務は、一日最大 1 人で 5 体の解剖を行うこともあります。冬場の繁忙期は、特に件数が多くなるため、体力的な負担が大きくなります。

Q3. 東京都監察医務院で勤務していてやりがいを感じる瞬間は。

A. 一番は解剖することで死因が明らかになった時にやりがいを感じます。特に臨床検査技師は、心臓以外の臓器の取り出しを行うため、病変を最初に発見することが多々あります。そのような病変を見逃すことなく監察医に報告し、死因の究明につながった時にやりがいを感じます。また、標本作製業務においては、血管の破綻部位が入った標本や血栓の標本など、作製した標本が死因の究明に役立った時に達成感を感じます。

Q4. 就職後に取得できる資格また必要な資格はありますか。

A. 試薬の管理を行う上で、危険物乙 4 種、劇毒物取扱責任者及び特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者等の資格が必要になります。これらの資格は、日常の検査業務に就く上で必須のものではありません。業務を進める上で選任が必要な場合は、在職中に取得していただくことがあります。